

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法（定額法）

その他の有価証券（時価のあるもの）・・・決算日の市場価格等に基づく時価法

(2) 消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
定期預金	202,731,329	25,400,000	0	228,131,329
投資有価証券	455,536,100	0	27,489,200	428,046,900
小 計	658,267,429	25,400,000	27,489,200	656,178,229
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	658,267,429	25,400,000	27,489,200	656,178,229

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に対応する 額）
基本財産				
普通預金	0	0	—	
定期預金	228,131,329	228,131,329	—	
投資有価証券	428,046,900	428,046,900	—	
小 計	656,178,229	656,178,229	—	
特定資産	—	—	—	
小 計	—	—	—	
合 計	656,178,229	656,178,229	—	

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期増減額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
緑と水の森林ファンド 助成金	(公社) 国土 緑化推進機構	0	4,160,000	4,160,000	0	
緑の募金推進体制整備 交付金	〃	0	950,000	950,000	0	

5 重要な後発事象に関する注記

(1) 公益目的事業の統合

公益目的事業の「公-1森林、林業の啓発と緑化事業」と「公-2 緑の募金事業」と区分していたが、令和元年12月2日理事会において効率的かつ安定的に運営するためこれを統合することとした。公益社団・財団法人の認定等に関する法律第11条第2項の規定により、令和2年2月18日に変更認定され、令和2年4月1日から変更することとした。

(2) 投資有価証券の売却

- ・運用益の減収により、公益目的事業の継続が困難な状況にあることから、令和2年4月3日保有している債券のうち第16回東京都公募公債、第1回福岡県公募公債（各額面金額1億円）を254,107,634円で売却した。
- ・売却益の54,107,634円については、年度ごとに特定費用準備資金として積立て、事業運営の費用に充当していく。

附属明細書

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略する。